



＜2050年ネット・ゼロ・エミッション達成への取り組み＞

国内外食産業では最大規模のコーポレート PPA 契約を締結

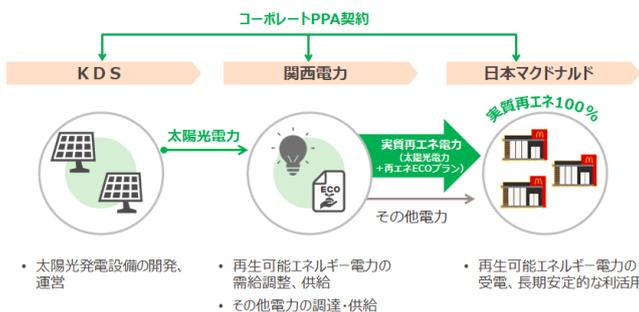
— 関西地区約 130 店舗に合計約 4,000 キロワットの再生可能エネルギーを供給 —

日本マクドナルド株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長兼 CEO：トーマス・コウ、以下「日本マクドナルド」）は、脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一環として、関西電力株式会社（本社：大阪府大阪市北区、取締役代表執行役社長：森 望）および KDS 太陽光合同会社（本社：東京都港区）とコーポレート PPA（電力購入契約）の締結に合意しました。

同契約により、日本の外食産業としては最大規模となる合計約 4,000 キロワットの再生可能エネルギーが供給されます。2025年2月より関西地区約 130 店舗のマクドナルドへコーポレート PPA による再生可能エネルギーの供給を開始し、これにより約 130 店舗では、太陽光発電によるコーポレート PPA と環境価値（非化石証書）の活用により、店舗での使用電力の CO2 排出量が実質ゼロになります。

マクドナルドでは「2050年までに、店舗、オフィス、サプライチェーン全体でネット・ゼロ・エミッション達成」、という目標を掲げており、現在東北、中部、関西、九州エリアを中心に約 450 店舗で CO2 を実質排出しない電力で店舗運営をしています。今回の関西エリアでのコーポレート PPA 締結を皮切りに、他の地域においても、再生可能エネルギーの導入をさらに拡大してまいります。

■コーポレート PPA サービスによる電力供給のイメージ



※画像はイメージです

■概要

- 発電事業者： KDS太陽光合同会社
- 小売事業者： 関西電力株式会社
- 需要家： 日本マクドナルド株式会社
- 発電出力： 合計約4,000キロワット
- 供給開始時期： 2025年2月（予定）

■2050年ネット・ゼロ・エミッション達成に向けて

日本マクドナルドは、各国のマクドナルドと協力し、グローバル全体で2050年までに地球温暖化の原因とも言われている温室効果ガスの排出量をプラスマイナスゼロとする「ネット・ゼロ・エミッションの達成」を目標に掲げています。中間目標は、「2030年までに店舗とオフィスにおける温室効果ガス※排出量50.4%の削減（2018年比）」としており、2023年度末時点で店舗・オフィスにおける温室効果ガス※排出量は2018年比で16.1%の削減を実現しています。※電気とガスの排出量

日本マクドナルドのサステナビリティの取り組みについては以下をご参照ください。

サステナビリティについて：<https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/>

サステナビリティレポート：https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/sustainability_report/

<リリース内画像ダウンロード URL>

PASS:2024mcd URL: <https://bit.ly/41IQMVf>

<お客様のお問い合わせ先>

マクドナルド公式ホームページ <http://www.mcdonalds.co.jp/>